

# 日風集

〈高知県立歴史民俗資料館だより・おこうふうじつ〉

第48号

2003年7月1日



「絵本集州」(個人蔵・高知県立文学館寄託)より魚売りの新兵衛を食べようとした山父が逆に退治されてしまう昔話が描かれている。



「土佐お化け草紙」(堀見忠司氏蔵)の山父杖をつき、背中が曲がっているのは「寺川郷談」の「老人のことし」という記述を思わせる。

資料  
見聞

## 山父の絵

右側の絵は「土佐お化け草紙」の「山父」の姿。坊主頭に丸い目玉がひとつ。右手で提灯を掲げ、竹の杖を握っています。

妖怪はもともと実体が無いために、話す人や描く人によって姿形がさまざまに変化してもおかしくありませんが、山父の場合その形には共通したイメージがあったようです。上は「絵本集州」の山父の登場する昔話を絵にしたものですが、坊主頭で一つ目の顔はそっくり

りです。

江戸時代の中頃、本川村に滞在していた役人の記録「寺川郷談」をのぞいてみますと、「山鬼と云者あり。年七十計の老人のことし。人に似たり。マナコーツ、足一本、ミノ、様成ものを着す。本川の人山ちいと云。俗に云山ち、なるへし」とあります。「七十才の老人のようで、人に似ている」ので「山爺」「山父」と呼ばれるのですが、目が一つの姿はやはり妖怪でしょう。「土佐化物絵本」の山父が一本足なのは、寺川の伝承に近いようです。

(梅野)



「百怪図巻」(福岡市博物館蔵)にみえる「山わらう」。やはり山の妖怪で一つ目に描かれている。

招待席

# 鹿猟に参加して

国立歴史民俗博物館助教授

常光

徹

今年の二月九日、物部村大栃の萩野

和明さんの紹介で鹿猟を見せてもらう

機会に恵まれた。外部の参加者は、私

と歴史館の梅野光興さんの二人。夜明

け前に一〇人ほどのメンバーが集まり、

車で猟場に向かった。目的地に着くと、

それぞれ手分けをして鹿の通りそうな

場所に移動。私たちも猟師さんについ

てけだもの道を登り、所定の場所で待

ち構えた。しばらくすると、下の方で

ビーグル犬が放たれ、鹿を追いはじめ

た。鹿の姿は見えないが、猟師さん

は犬の鳴き声からおよその動きがわか

るようで、右に左に少しずつ場所を移

しながらじつと様子をうかがっている。

逃げ回っている鹿が時おりこちらの方

に向かってくるらしい。それも猟師さ

んの動きからわかる。

突然、ダーンダーンと立て続けに銃

声が響き、ゴーツと山が鳴った。トラ

ンシーバーを耳に当てると、近くの尾

根で雄鹿を仕留めたという声が入って

きた。午前中の獲物は一四貫の雄鹿一

匹と兎一羽。鹿は谷に運んでその場で



山の神に供えた肝

解体したが、みごとな手さばきである。肝は小枝に挿し十字の切り口を入れて山の神に捧げる。昔は、兎以外は耳を切り取り、片耳を明きの方（歳神のつかさどるめでたい方向）に向かつて供えることもあったという。

午後は、猟場が変わり、私たちは萩野雄三さんに付いて、川原に出てくる鹿を道端で待つことになった。萩野さんは大正一三年（一九二四）生まれで、今年七九歳になる物部村では最長老の猟師である。猟を始めたのは一七、八歳の頃だという。残念ながら、鹿は私たちの前には姿を現わさなかったが、

しかし、猟の合間に、狩猟の民俗や山の怪異談を聞かせてもらったのは思いがけない収穫だった。

むかしの山には、犬を呑むような大蛇をはじめさまざまな魔物がいたという。山に入って、もし得体の知れないものに出合ったときにはどうするのかと尋ねたところ、萩野さんは即座に、怪しいと感じたら銃の照門（目標を定める照準装置）についている小さな穴から覗くと魔物の正体がわかる、と教えてくれた。現在の銃にはこの穴が無いが、以前の銃にはみな付いていたという。この話を聞いたとき、桂井和雄先生の「妖怪の本性」と題した論文を思い出した。土佐郡土佐山村で火縄銃を使っていた時代に、妖怪の本性を見破るための方法だったと書かれている。なんだか懐かしい伝承に出会ったような気がした。

萩野さんの昔語りには耳を傾けていると、ずっと下のほうで銃声があった。さっそく、梅野さんの車で駆けつけると、谷川のなかに二〇貫余の雄鹿が沈んでいた。

その夜は、猟師の皆さんの手料理をご馳走になりながら、山や川の猟漁談義で盛り上がった。貴重な体験をさせてもらった一日だった。



魔物の正体を見る。萩野雄三氏再現

## プロフィール

常光徹先生は、一九四八年高知県生まれ。高校時代、当館の坂本正夫館長に民俗学の話聞いたことが刺激となり、民俗学者に。平成五年に刊行された『学校の怪談』（現在角川ソフィア文庫）が、学校の怪談ブームの火付けもとになった。高知新聞連載をまとめた『うわさと俗信』（高知新聞社）他編著作は多数。国立歴史民俗博物館の「異界万華鏡」展の代表でもある。

特別展

# あの世 妖怪 陰陽師

異界万華鏡

梅野光興

「五趣生死輪」(国立歴史民俗博物館蔵)  
無常大鬼が、天、畜生、地獄、餓鬼、人(右上から時計回りに)の五趣の輪を抱える。



「兵六物語」(国立歴史民俗博物館蔵)  
勇敢な若者大石兵六が狐のいる山で狐の化けたさまざまな化け物と出会う。これはその一つ、三つ目こうえん。



あの世、妖怪、幽霊…、これらのものは、私たちの目に見えるものではありませんが、人々はこれらのものを想像し、語り伝え、絵に描いたりしてきました。そのような世界のことを、ここでは「異界」と名付けます。

人びとは「異界」を想像することで、あるときは恐れ、あるときは楽しみ、あるときは癒され、またあるときは生きる教えを得ていたのです。

今回の展示では日本人が想像してきたさまざまな「異界」を一大パノラマのように展開します。

展示内容は大きく次の三つのパートに分かれます。

## 第一部「あの世とこの世」

## 第二部「妖怪変化の時空」

## 第三部「ウラを読む」

第一部は、死後の世界や、死者と生者の交流にテーマをしばって展示します。

第二部は、日本に伝えられてきた妖怪の諸相を、さまざまに書き残されてきた絵画資料を中心に展示します。

第三部では、近年ブームを呼んでいる安倍晴明と陰陽道をメインに展開します。

今回の展示は平成一三年に国立歴史民俗博物館(歴博)で開催された「異界万華鏡―あの世・妖怪・占い―」展から、歴博収集資料約一四〇点を巡回

するものですが、当館独自の調査分を加え全部で約三〇〇点の資料を展示します。

新たに加わった資料は県内資料はもちろんです。歴博では展示されていなかった「百怪図巻」(福岡市博物館蔵)や鳥山石燕「百鬼夜行」(京都大学附属図書館蔵)、吉川親方の幽霊画コレクション(福岡市博物館蔵)などの重要資料を展示します。

特に、高知県には「生きている陰陽道」ともいわれる「いざなぎ流」が伝えられていることから、第三部に力を注ぎ、「陰陽道」入門展示となるように心がけました。タイトルに「陰陽師」を入れてあるのもそのためです。

親子で楽しめる「妖怪と遊ぼう」コーナー(2階ロビー)には、的に矢を当てるとお化けが飛び出す「からくり」や「民話おもちゃ」を設置します。「からくり」は毎日午後一時から三時まで体験できます。

期間中講演会やシンポジウムも予定していますので、異界や妖怪について深く考えたい人は、ふるってご参加下さい。

人間の心が生み出した「異界」。この夏、あなたもちよつとのぞいてみませんか？

## 第一部 あの世とこの世

人間は死んだらどうなるかと考えられてきたのか。展示はまず、極楽浄土に往生したいとの願いから、阿弥陀三尊の画像と糸で結ばれながら最期を迎える「臨終行儀」の復元模型から始まります。続いて、さまざまな地獄絵や極楽絵を展示し、人々が想像した死後の世界を紹介します。

「熊野那智地獄極楽歎心十界図」は、上部に阿弥陀三尊のいる極楽世界を、中程に人間が生まれてから老いて亡くなるまでを、そして死後の世界である六道の様子が下半分に描かれています。



熊野那智地獄極楽歎心十界図  
〈複製〉(国立歴史民俗博物館蔵)

あの世へ行った死者と残された者はどのように交流したのでしょうか。

盆行事の提灯、江戸時代に人気役者が死んだときに出された「死絵」という錦絵、幽霊を描いた掛け軸一八点などを展示します。今回は特に、幽霊画の名手とうたわれた円山応挙の筆と伝えられる資料を期間限定で展示します(実物は八月一日まで)。



伝円山応挙筆の幽霊画〈複製〉  
(国立歴史民俗博物館蔵)

## 第二部 妖怪変化の時空

伝承の中の妖怪は、本来目に見えないもの、とらえどころのないもの、という特性をもっていました。が、絵画としてビジュアル化されると、その不思議で恐ろしくまたユーモラスでもある姿形の面白さから次第に妖怪を描いた資料は増えていきました。今回は描かれた妖怪の歴史を、絵巻、絵本、錦絵、錦絵新聞などメディアごとに紹介します。

中でも「百鬼夜行絵巻」「大江山酒呑童子」「兵六物語」などの絵巻類はダイナミックな迫力で目をひきます。「百鬼図巻」には、河童、産女、山姥、雪女、牛鬼、ぬらりひょんなど日本を代表する妖怪が勢揃いしています。絵巻は一度に広げることができないので、画面を変えて少しずつ展示する予定です。土佐の妖怪資料も展示。高知にこんなお化けがいたのか、と驚くことうけあいです。



兵六物語より・ぬっぺっぼう (国立歴史民俗博物館蔵)



暁斎漫画・狸々と河童の首引 (国立歴史民俗博物館蔵)

## 第三部 ウラを読む

占いのエキスパートだった陰陽師にスポットを当てます。陰陽師は、もともと国のことなどを占うのが仕事でしたが、平安時代に、個人の病気や災いを除く仕事の方にもその領域を拡大していきました。ここでは、そのような陰陽師の役割を、祓い、鎮め、星の神や方位の神の祭りなどの項目で具体的に迫っていきます。

大將軍は、金星の精とされ、それが地上におりてきて時によって遊行するものとされました。大將軍がいる方角へ行くと神の祟りがあるといわれ、「方違え」や大將軍を祭ることでの難を逃れようとなりました。本展では、国重要文化財の大將軍神像を三軀展示し、中世の陰陽道信仰の一端を紹介します。

また、中央の陰陽師資料である「若杉家資料」(京都府立総合資料館)「吉川家資料」(歴史博)と、本県のいざなぎ流と比較し、いざなぎ流のルーツを探ります。



外道を調伏する安倍晴明〈模型〉  
(国立歴史民俗博物館蔵)



大將軍神像〈武装形神像・国重文〉(大將軍八神社蔵)

見所その1 土佐のお化けも現れる



土佐お化け草紙 (堀見忠司氏蔵)  
左のろくろ首は、親の言うことを聞かない者がこのような姿に。右の餓鬼は、死者をねんごろにとむらわないと、盆彼岸に来ると言う。

今回の展示のメインは、歴博所蔵資料ですが、高知県独自の資料も多数出品されます。中でも「土佐お化け草紙」は高知県では初の一般公開となる資料。絵柄は中央の絵巻に比べて素朴な感じですが、妖怪の種類は、産女、猫股、山鱈、餓鬼、鬼火、山父など一七種類。展示の都合で少しずつしかお見せできませんが、ポスターやチラシに大活躍。一昨年、県立文学館で展示された「土佐化物絵本」もお目見えします。こちらでも展示では少ししか紹介できませんが、図録に全編の翻刻を掲載します。ご期待下さい。

見所その2 美術館ホールと連携

怪談映画大会

8月23日(土)・24日(日)

「妖怪百物語」ポスター  
(国立歴史民俗博物館蔵)



有名な幽霊談は、歌舞伎や落語として上演され、流布していききましたが、映画が普及すると、怪談を題材にした映画が登場しました。今回は美術館ホールの企画として、戦後から六〇年代までの日本の怪談映画の傑作を一一本も上映することになりました。

名匠・中川信夫の傑作「東海道四谷怪談」「地獄」「亡霊猫屋敷」や小林正樹監督のカンヌ映画祭特別審査員賞の「怪談」など二度と組めないプログラム。「妖怪百物語」や「妖怪大戦争」は大人も子どもも楽しめます。お見逃しなく!

土佐の民具①

火吹竹

坂本正夫



火吹竹は火を吹きおこす竹筒のことです。径三―四センチ、長さ四〇―五〇センチほどの真竹で作ります。

一方の端に節を残しておいて小さな穴をあけるとできあがりですが、節が二つの場合は中間の節は抜きとります。

使うときは、吹き口から吹き込む息を一筋の風として送りますが、穴が太過ぎても小さ過ぎて駄目だし、また穴の位置が左右に少しでもずれると使いものになりません。いずれにしても竹の長さや径、それに息の吹き込みで小穴の大きさが決まるのです。なお、火吹竹は年に一回、午の日に作るものだといわれていますが、初午の日に作ると火事に遭わないという土地もありました。

わたしが子どもの頃には、囲炉裏の隅にいつも火吹竹が置かれていたのですが、その「火吹竹は絶対まいたではいけない」といわれていました。汚い所へ置くものではない、ともいわれておりました。これは火をおこすという神聖な行為に対する、父祖伝来の想いを伝えるものだったのだ

ろうと思います。

では、最後に火吹竹に関する土佐の諺を二つ紹介しておきましょう。

嫁は火の焚き方を見てもらえ  
火吹竹の根は竹藪にあり

最初のものは火吹竹を上手に使い、くすらんように(あまり煙がでないように)少ない燃料で煮炊きのできる女性。二つ目はあることないことを吹聴してトラブルメーカーになる人のたとえです。

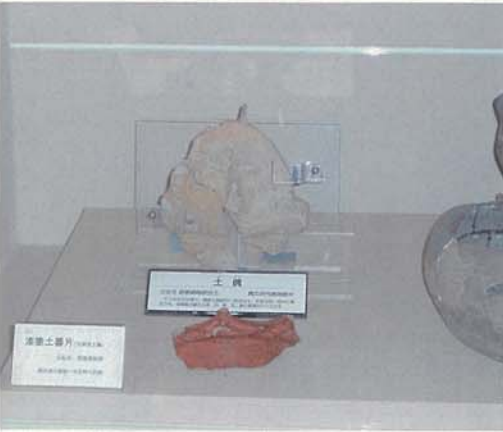


# 総合展示室 一部

## リニールコーナー

「居徳遺跡群の土偶」、  
「窪川町市生原の銅矛」、高知  
市秦神社蔵の複製「天正十四丙戌  
年十二月十二日於豊州信親公忠死  
御供之衆鑑板」「長宗我部元親書  
状」「坂本龍馬書状」などが常設  
展示に登場しました。  
近世コーナーに四国遍路に関す  
る資料も展示しました。

開館して一〇年を過ぎ、新資料の発  
見や資料の寄贈・寄託がありました。  
また複製資料も製作しました。常設展  
示資料の展示替えは、資料保存の立場  
から従来より行なわれていましたが、  
今回は三二点の展示替えを行ないまし  
た。今後の常設展示資料の展示替えに  
ついては、『岡豊風日』やホームページ  
でお知らせいたします。(岡本)



総合展示室 居徳遺跡群出土土偶



総合展示室 「近世の社会と文化」コーナー



総合展示室 「土佐の戦国時代」コーナー

## 民俗展示室・企画コーナー

今回の企画コーナー展示は、タイト  
ルも「はりまや橋で相合傘」と、ソフ  
トムードです。何分、展示物は純信・  
お馬の恋の道行き姿をうつつした可憐な  
相合傘の人形ですし、よさこい節にも  
唄われ、多くの人々を土佐路へ誘って  
きた悲恋物語とその舞台となったはり  
まや橋がテーマですから。山崎茂さん  
の郷土玩具コレクションには相合傘の  
バリエーションの多様さを、薦田耕作  
さん所蔵の大きな相合傘には郷土玩具  
作家の粋をお楽しみください。

果たして二人のその後の人生は？坊  
さんがかんざしを買ったはりまや橋の  
賑わいは、どのように形成されてきた  
の？そんな素朴な疑問に答えるパネル  
も作りました。文政一〇年（一八二七  
年）橋の上に登場した十九文屋とは？  
ぜひ、ご確認くださいね。(中村)



本年度からワク  
ワクワークに「れ  
きみんワクワクス  
タンプカード」が  
登場しました。ワ  
クワクワークに参  
加すると参加スタンプ  
がもらえます。五月四日  
には、第一回目「竹であそ  
ぼう」を行いました。二九名  
が参加され、カルチャーサポー  
ター五名と「つきてっぼう」  
「竹馬」「風ぐるま」作り  
に挑戦しました。夏は「土

佐のおばけ話」を四回、秋から冬は

「障子貼りに挑戦しよう」「麦飯を炊い  
てみよう」があります。

親子で参加をしてみたいかがでし  
ようか。今年度六回以上、ワクワクワ  
ークに参加された方には参加賞を予定  
しています。(泉)



# 歴民クイズの陣

昨年大好評だった「歴民クイズの陣」

を、今年も開館記念日の五月三日（土・祝）に行ないました。朝から親子や家族連れなどにぎわい五五四名が入館。「今年は難しい」などの声も聞かれましたが、みなさん熱心にクイズに取り組んでいました。クイズに全問回答参加された方は三五五名で、参加賞としてオリジナル便箋を進呈しました。その内で全問正解者は一六八名で、抽選で一〇名の方にパーフェクト賞の図書券をお送りしました。午後二時から「おばやん」トークも行なわれ、こちらにも一四名がAVホールにぎわしり。また、総合展示室の一部リニューアルがこの日お披露目となり（6P参照）、民俗展示室企画コーナー「はりまや橋」ともども、来館者の目を集めていました。



## 答え

- 1-② 2-①
- 3-③ 4-⑤
- 5-④ 6-①
- 7-④ 8-③
- 9-② 10-②
- 11-① 12-②
- 13-④ 14-②
- 15-② 16-①
- 17-③ 18-④
- 19-② 20-③



2003 歴民クイズの陣 クイズ問題です。  
ヒント…各時代を参考に展示室へいってみよう

### 【3階総合展示室】

#### 縄文時代

- 1 縄文時代草創期の隆起線文土器は十和村のどこの遺跡のものですか？  
①田村遺跡群 ②十川駄場崎遺跡  
③入田遺跡 ④不動ヶ岩屋洞穴遺跡
- 2 宿毛貝塚から出土した人骨の下顎骨(あごの骨)の歯はどうなっていますか？  
①磨り減っている ②歯は全く無い

#### 弥生時代

- 3 田村遺跡群出土の土器の種類は甕、壺ともう一つは何ですか？  
①皿 ②碗 ③高坏
- 4 窪川町西ノ川口遺跡出土の銅矛は何口(何本)展示されていますか？  
①1 ②2 ③3 ④4 ⑤5

#### 古墳時代

- 5 中村市古津賀遺跡第10号祭祀遺構(復元)の一番大きい須恵器の大甕の色は何色ですか？  
①緑 ②ピンク ③クリーム色 ④灰色

#### 奈良・平安時代

- 6 南国市土佐国府跡出土の墨書土器片に書かれた文字は？  
①官 ②司 ③国 ④米

#### 鎌倉時代

- 7 源頼朝下文は頼朝がだれに与えた文書でしょう？  
①中原中也 ②香宗我部親泰  
③一条房家 ④中原秋家

#### 安土桃山時代

- 8 鑑板(鑑板)に刻まれている「信親公」とはだれのことでしょう？  
①武田信玄の長男 ②上杉謙信の弟  
③長宗我部元親の長男 ④織田信長の従兄

#### 江戸時代

- 9 山内一豊の制札(禁制)は何を目的にしたもの？  
①竹林寺の建て替え ②竹林寺の保護  
③五台山への立ち入り禁止 ④竹林の有効利用
- 10 四国霊場八十八ヶ寺のうち、土佐には何ヶ寺ありますか？  
①20寺 ②16寺 ③35寺

- 11 茶運人形が載っている「機巧図彙」の作者はだれでしょう？  
①細川半蔵頼直 ②平賀源内 ③杉田玄白

- 12 武市瑞山の剣術の流派は何流でしょう？  
①北辰一刀流 ②鏡新明智流 ③示現流

- 13 坂本龍馬が海援隊を通じて輸入したと伝えられているものは？  
①沿岸防備の大砲 ②からくり人形  
③湿板写真 ④エンフィールド銃

#### 近現代

- 14 明治6年(1873)、地租改正条例では地価(土地の値段)の何%が地租(土地にかかる税金)に定められたでしょう？  
①2.5% ②3% ③5%

### 【2階民俗展示室】

#### 海の民俗

- 15 船霊のご神体ではないものは何でしょう？  
①お金 ②ハンコ ③サイコロ ④人形

#### 山の民俗

- 16 木を伐り倒すときに受け口と追い口をつくります。これは何のためでしょう？  
①思い通りの方向に木を倒すため ②思い通りの長さに木を伐るため  
③思わぬ幸運を木霊から授かるため

#### 民俗企画コーナー

- 17 相合傘をしている人形はどんなカップルでしょう？  
①大工さんと町娘お馬 ②助さんと町娘お寅  
③坊さんと町娘お馬

#### 野の民俗

- 18 展示されている千歯扱きの別名は何でしょう？  
①百歯扱き ②カモノハシ ③カナシバリ ④カナバン

#### 鍛冶

- 19 鍛冶屋さんの仕事はじめの行事を何といいますか？  
①鍛冶ぞめ ②打ちぞめ ③まわし打ち ④金床ぞめ

### 【1階企画展示室】

#### おばやんの知恵袋

- 20 おばやんが遊んだ人形は何でしょう？  
①おとら人形 ②おさわち人形  
③姉様人形 ④兄様人形



# 平成15年7月～11月の催し物

## 新刊

### 高知県立歴史民俗資料館 研究紀要第12号

四国霊場の納札1  
—土佐神社の廻路納札と札扶について—  
岡本桂典  
歴史民俗資料館と博物館の間で(下)  
梅野光興

高知県における鏡絵調査 その1  
—香美郡香北町・物部村 資料調査員調査報告—  
後藤孝一

A 4版118頁 頒価650円(送料310円)

### 寺石正路関係資料目録 I (歴史分野)

絵葉書・封書編②

A 4版61頁  
頒価750円(送料240円)

館受付で販売中。郵送希望者は送料とあわせて現金書留か郵便振込でお申し込み下さい。

口座番号 01610-2-61369  
加入者名 高知県文化財団

月・日	主な出来事
5. 3	常設展示部分リニューアル 歴民の日 展示室トーク④
5. 4	ワクワクワーク 竹で遊ぼう
5. 13	展示室トーク⑤
5. 17	町並ウォッチング⑧伊野町
5. 25	企画展「おばやんの知恵袋」終了

## ひとこと

○5月3日の「歴民の日」はご家族連れ等、多くの方々に「歴民クイズの陣」にご参加いただきました。パーフェクト賞を獲得された方のお一人から、プレゼントの図書券を家族で分けて思い出の本を買います、との通信をいただきました。ご家族で楽しく過ごしていただけたこと、職員一同うれしく思っています。(曾我)

○今号から「岡豊風日」はオールカラーとなり、年4回刊行だったのを3回刊行とします。ご意見・ご要望などありましたら歴民までお寄せ下さい。(梅野)

岡豊風日(おこうふうじつ) 第48号  
平成一五年七月一日  
編集・発行 高知県立歴史民俗資料館  
〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1  
TEL 088-8662-2211  
FAX 088-8662-2110  
開館時間 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(祝日及び振替休日  
にあたる場合は翌日) 12月28日  
～1月4日、臨時休館日あり  
入館料 通常期(常設展)大人(18歳以上)  
450円・団体(20人以上) 360円  
無料 高校生以下、高知県及び高知市長寿  
手帳所持者、療育手帳・身体障害者  
手帳・障害者手帳・戦傷病者手帳・  
被爆者健康手帳所持者とその介護  
者(1名)  
印刷(株)飛鳥

http://www2.net-kochi.gr.jp/~kenbunka/rekimin/  
E-mail:rekimin@tosa.net-kochi.gr.jp

## 特別展

### あの世・妖怪・陰陽師 —異界万華鏡—

7月19日(土)～8月31日(日)

日本人に伝えられてきたさまざまな異界の姿を大公開。

総合展示室の資料を撤去し3階と1階を使う特別展として開催します。

2階ロビーに、江戸時代の「からくりの」を復元。体験もできます。(毎日1:00～3:00)

入館料大人600円(団体480円) 高校生以下無料



## 講演会

### 「異界と妖怪—土佐の伝承を中心に—」

国立歴史民俗博物館 常光徹氏

7月26日(土) 14:00～16:00

<葉書かEメールでお申し込み下さい 先着100名>

## シンポジウム

### 四国妖怪談義

7月27日(日) 13:00～16:30

共催：四国民俗学会

<葉書かEメールでお申し込み下さい 先着80名>

## 展示室トーク

①7月20日(日) ②8月2日(土) ③8月16日(土) ④8月30日(土)

14:00～15:00 <お申し込みは不要です>



## ワクワクワーク

### 土佐のおばけ話

講師・市原麟一郎氏

①7月20日(日)

②8月2日(土)

③8月16日(土)

④8月30日(土)

10:00～11:00 (会場：AVホール)

河童像(複製)  
(国立歴史民俗  
博物館蔵)

### 障子貼りに挑戦しよう

10月25日(土) 10:00～12:00

### 麦飯を炊いてみよう

11月8日(土) 10:00～12:00

<電話かEメールでお申し込み下さい 先着順>

## 史跡めぐり

11月1日(土) 徳島

<専用申込書をご請求ください。>

## 臨時休館のお知らせ

特別展展示替えのため

7月12日(土)～18日(金)、9月1日(月)～8日(月)